岩国市から来客あり

岩国市子連の関係者Ａさんが県子連事務局に来られました。その主目的は安全共済会の書類の点検です。今までは会員名簿を担当者に渡していただけでしたが、今年から安全共済会の書類を作成することに。しかも、様式が一新されたため、詳細について県子連の担当者に確認してほしいとのこと。

岩国市は県内では最も遠い地域の一つです。わざわざ来ていただくと、地域の実情がよくわかります。最近、１つの学校が抜けたのですが、事務局（安全共済会をはじめ事務処理・連絡役）を引き受ける人がいない。活動はしているし、単位子ども会として継続していきたい気持ちはある。例えば、保護者が何百人分の書類を作成したり、名簿を管理したりするのは簡単なことでないでしょう。各市町子連、地区子連、単位子ども会の事務を引き受ける人を見つけなければ存続が難しい。子ども会として残りたいし、活動も続けるが、安全共済会には入らないので、解散する事例も見られます。

それでも、Ａさんのように、自ら進んで事務局機能を担い、保育士や教員等から情報収集して新しい企画を考え、実行しようという意欲には頭が下がります。

